

2025年への対応方針

【2019年改訂版】

1. 基本情報

【2019年9月時点】

医療機関名	医療法人社団 千栄会 昭和病院
所在地	高崎市綿貫町1341番地
沿革	昭和55年：一般病床（急性期）60床にて開院。救急指定病院として稼働 昭和63年：一般病床（急性期）110床を増床し、計170床 平成11年：一般病床（急性期）116床、療養病床40床、計156床 平成18年：一般病床（急性期）156床 平成20年：一般病床（急性期）110床、療養病床46床、計156床 平成26年：一般病床（急性期）94床、療養病床46床、計140床 現在に至る

2. 病床について（病床機能ごとの病床数（一般・療養））

現在	合計	高度急性期	急性期	回復期	慢性期	休棟中等
	140 床	床	49 床	床	91 床	床
	平均在院日数	日	49.7 日	日	498.8 日	
	病床稼働率	%	67.8 %	%	80.4 %	



将来 (2025年)	合計	高度急性期	急性期	回復期	慢性期	廃止	介護保険施設等 への移行
	140 床	床	105 床	床	35 床	床	床

2025年に向けた 病床活用の 見通し	高度な専門的医療を提供するため、病棟を改変して、内科病棟、外科病棟、整形外科病棟、（各35床）の3病棟で、機能充実を図る。特殊疾患病棟、療養病棟は合併減数して、特殊疾患・療養病棟とし、地域ニーズに伝えていきたい。高瀬クリニックと合同して175床の新病棟建設の構想中である。
---------------------------	--

3. 医療機能について

診療科目	8 科（内科、消化器内科、外科、消化器外科、整形外科、リウマチ科、皮膚科、麻酔科、）
------	--

現在	○	がん	脳卒中	心血管疾患	糖尿病	精神疾患	在宅医療
	○	救急	災害	へき地	周産期	小児	○ その他
	「その他」の具体的な機能		人間ドック等健康診断				



将来 (2025年)	○	がん	脳卒中	心血管疾患	糖尿病	精神疾患	○ 在宅医療
	○	救急	災害	へき地	周産期	小児	○ その他
	「その他」の具体的な機能		人間ドック等健康診断				

4. 連携している医療機関について

主な紹介元医療機関	高崎総合医療センター	藤岡総合病院	堀米医院
主な紹介先医療機関	高崎総合医療センター	藤岡総合病院	前橋赤十字病院

5. 当院の特徴について

特徴的な 地域医療	内科・外科・整形外科診療の中で、地域の皆様のかかりつけ医としてやっている。近隣の開業医の先生方からは、救急・緊急入院の病院としてご利用いただいている。
特徴的な 特殊疾患 療養病棟	重度意識障害や重度身体障害の方々のための療養病棟をもっている。長期の療養が可能である。一般の慢性期療養病棟は、急性期病院・病床の後方支援として患者受入が機能している。

6. 現状と今後の方針等

当院の現状	急性期病棟は、内科・外科・整形外科の患者、長期療養待機の患者の混合病棟になっている。連携医療機関からの紹介で特殊疾患病棟で重度の意識障害や重度身体障害の方を治療している。慢性期長期療養を必要とする方や回復期の方のために療養病棟を設けている。
当院の未来像	急性期病棟を改変し、内科（消化器内科・一般内科）、外科（消化器外科・一般外科）、整形外科（リウマチ科・一般整形外科）の3病棟と各々の医療レベルの高度化・専門化を進めて、地域の要望に応じて行くつもりでいる。同一法人の高瀬クリニック（循環器内科・循環器外科専門施設35床）と合同の新病院建築構想中で、消化器、循環器、整形外科が相互に連携した医療・横断的な治療を目指している。一方、要介護の方へのため、特殊疾患病棟は継続していく予定でいる。
その他 (県民・受診者への メッセージ等)	各科が連携した総合的な医療を提供していきます。 重度の意識障害や重度身体障害の方が家族のために、長期の療養が可能な病棟を続けていきます。